

アオサギ観察会

2007年4月27日

アオサギの名前 学名は *Ardea cinerea* で灰色のサギという意味です。英名は Grey Heron、こちらも灰色のサギです。これ以外にも灰色のサギと呼んでいる国は圧倒的に多く、青いサギと呼んでいるのは、日本以外では中国、オランダなどごく少数です。むかしの日本では白でも黒でもない中間的な淡い色を青と称していたため、灰色っぽいサギは「アオ」サギと呼ばれたわけです。日本のアオサギという呼び名は奈良時代にはすでに使われており、当時はミトサギという別の呼び名もあったのですが、両方の名前が明治時代まで併存したのちアオサギのほうだけが残ったようです。



アオサギの形態 全長は 90-98cm で日本で繁殖するサギ類の中では最大です。チュウダイサギ（日本で繁殖するダイサギ）よりやや大きく、オオダイサギ（大陸で繁殖し日本で越冬するダイサギ）よりやや小さめです。翼開長は 175-195cm で、大人が両腕を広げた長さよりもさらに大きな翼をもっています。体重は平均 1.5kg くらいですが、1020-2073g とかなり個体差があります。雌雄とも同じ姿なので見分けるのは困難ですが、ペアで並ぶと雄のほうがやや大きく見えることがあります。繁殖期の初期には婚姻色が現れ、嘴と脚、虹彩が黄色からオレンジや朱色に変化します。また繁殖期には頭の後ろに長さ 10cm ほどの冠羽が数本現れます。



アオサギの生息域分布 ツンドラや砂漠地帯を除くユーラシア、アフリカ大陸のほぼ全域に分布しています。南北アメリカ大陸やオーストラリアには分布しません。高緯度地域で繁殖する個体は渡りを行い、冬の間は低緯度地域で越冬します。日本全土に生息し、沖縄などを除いてほぼ全土で繁殖しています。日本の多くの地域では留鳥ですが、北海道など北の地域のアオサギは冬になると低緯度地域に移動します。なお、日本で繁殖したアオサギの渡りルートについてはほとんど分かっていません。全世界のアオサギの個体数は不明ですが、ヨーロッパでは約 50 万つがい繁殖していると推定されています。また、北海道でのつがい数は約 4500 と見積もられています。

